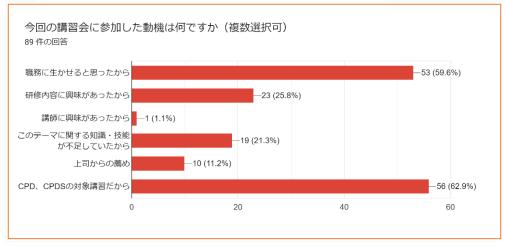
#### 1. 参加状況

区分	当初申込み	受講可人数	参加者	出席率
県	7	7	7	100.0%
市町村	5	5	5	100.0%
建設業	44	44	43	97.7%
コンサルタント	44	44	39	88.6%
その他	0	0	0	- %
計	100	100	94	94.0%

#### 2. 今回の講習会に参加した動機は何ですか(複数選択可)

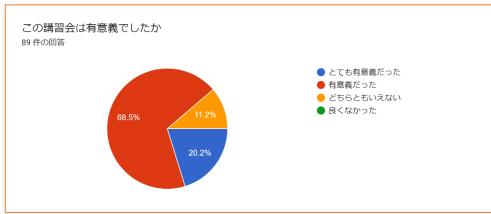


### その他の場合や上記の具体的な理由を記入ください

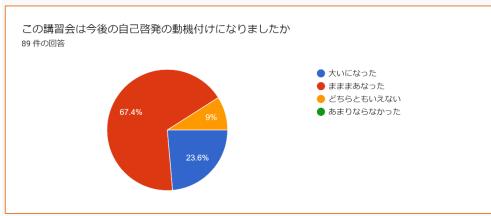
- 上司の指示
- 今からは既設構造物等の維持管理が増えていくことが想定されるため、舗装の修繕知識の修得が必須になるから。
- 舗装修繕について勉強したかったから。
- 会社からのすすめで参加しました
- 道路管理者ではないが、職員として道路に携わる可能性があるため、知識と して習得しておきたかった

- CPDS のポイント不足。維持修繕を行ううえでためになる。
- CPD 対象
- CPD の単位の取得のため
- CPD 単位の取得、舗装の維持修繕に関する知識を学ぶため。
- RCCMのCPD取得のため
- 舗装施工管理の資格取得に役に立つと感じ為
- スキルアップ
- 舗装に関することで関心を持った
- 路面整状調査の業務に携わっていて、知識をつけるため
- 知識不足を補うため

#### 3. この講習会は有意義でしたか



### 4. 今後の自己啓発の動機付けになりましたか



### 5. 講師について意見がありますか



この講習会を評価すると 10 点満点で何点ですか



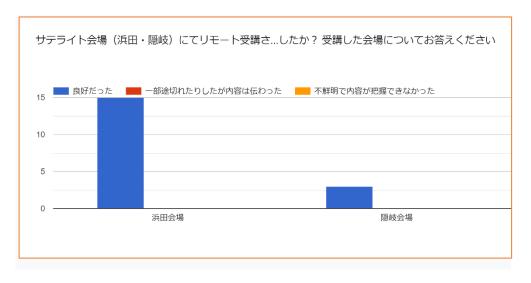
## 評価した内容について理由があれば記入下さい

- 講師によって準備している資料や説明に上手い、下手があり、聞きやすい講 義の方と、何を説明されているかほぼわからない方があった。
- 面白かったです。今後の業務の参考に大いになった
- 舗装構造と破損形態の説明や資料が分かりやすく特に良かった。その他の項目も今後の業務の参考資料として利用したい。
- 今後に役立つから
- 設計施工の基準書を整理してあり、業務や施工に関わる者にとって参考になる内容だった。
- 話し方がわかりやすかったから

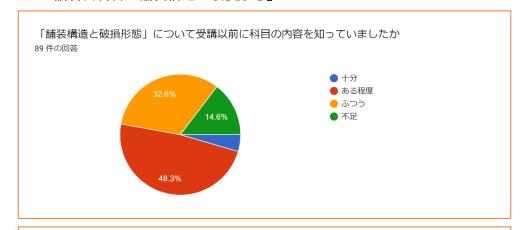
- 6. この講習会全体を通じて感じたこと、要望、提案等率直な意見を記入してください
- もう少し早い時間に開始してほしい。
- 分かりやすい資料と説明を望みます。時間をさいて、知識向上のため参加しているため。
- 「舗装修繕工法の色々」の講義はとても興味深い内容だった。
- 企画、運営された方。講師の皆様ありがとうございました!
- ほとんど教本の説明で、施工例、失敗例とか具体的な話が聞きたい、ほぼ教 科書通りでした。
- 資料内容の順に沿った講義にしてほしい。
- 次回もしてほしい
- 各修繕材料について、合材の種類、特徴等の内容をもう少し詳しく知りたい
- 説明が早かった部分があった気がします、個人の知識が追いついていないため。
- 7. 今後の講習会に取り入れてほしいテーマ・内容等があれば記入ください
- 下水道の管更正についてと BIM, CIM の基本について
- 景観、まちづくり
- 道路管理の瑕疵事故、責任、対策など。 施工不良事案、設計不良事案など のしくじり先生的な
- もっと動画などがあるとわかりやすいかもしれない。
- DX
- 舗装の設計

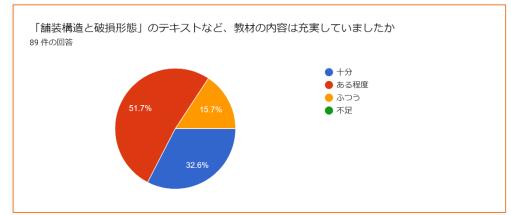
- 8. 今回の講習会に限らず、今後「島根県建設技術センター」に取り組んで 欲しい内容や開催して欲しいイベントがあれば記入ください
- 一般土木施工会社向けの内容を増やしていただきたい
- 積算技術の向上イベント
- ◆ 失敗事例の紹介。しくじり先生俺みたいになるなよ的な。
- 基礎的な舗装破損、陥没の直し方に関する研修
- 3D設計の実践

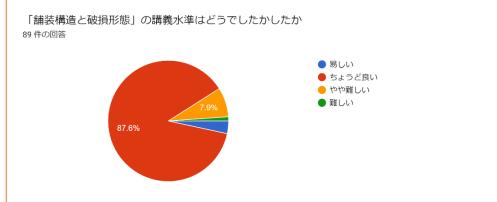
9. サテライト会場にて受講された方に伺います。配信された講義の内容は 伝わりましたか?

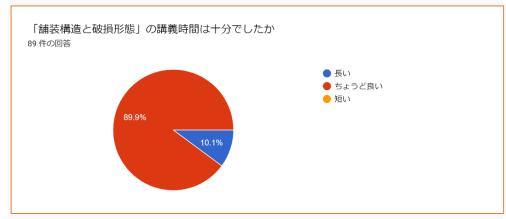


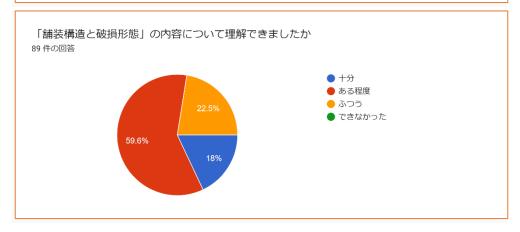
### 10. 講習会科目「舗装構造と破損形態」について

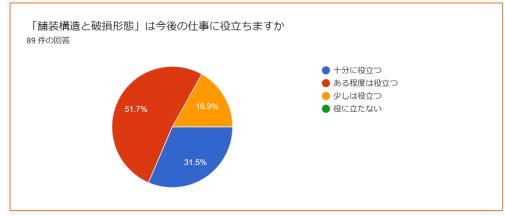








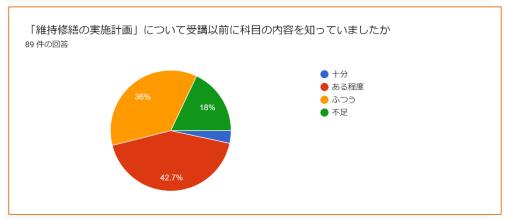


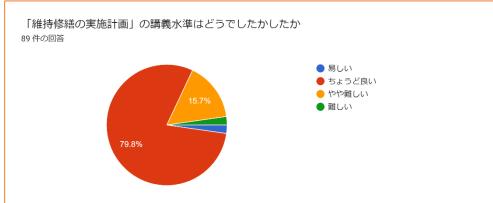


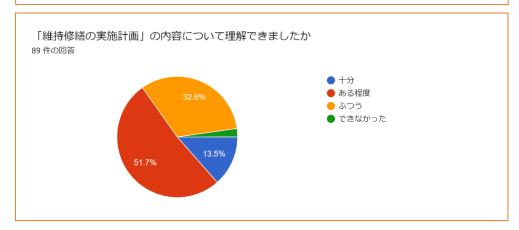
講習会科目「舗装構造と破損形態」の意見・感想・要望・質問があれば記入 ください

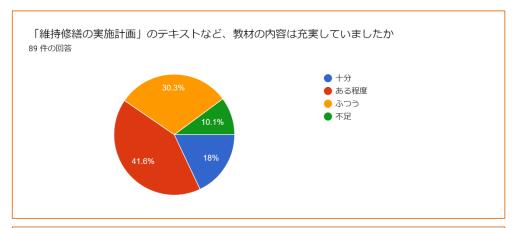
- 写真やイラストと文章を組み合わせて説明されており、理解しやすかった。
- 原因として、水分の滞留による分離が起きているという説明がわかりやすかった。また、補修方法もためになった。
- ひび割れやわだち掘れについて知識はあったが、忘れていたことも多々あったため、勉強になった。アスファルトの剥離についてももう少し詳しく勉強したいと思った。
- 舗装、路盤、路床、その他(盛土など)どこの変状が多いのでしょうか?
- 舗装の種類、損傷の種類や対策を事例をもとに説明していただき、とても分かりやすく学べました。
- 講師の方の説明や資料が分かりやすく大変良かった。損傷事例と発生原因 の詳しい説明があり勉強になった。
- 舗装の基準書の内容や、破損形態を学習できて参考になった。
- 新技術を知りたい

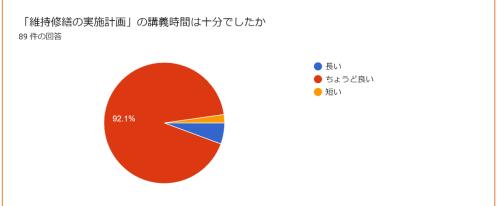
### 11. 講習会科目「維持修繕の実施計画」について

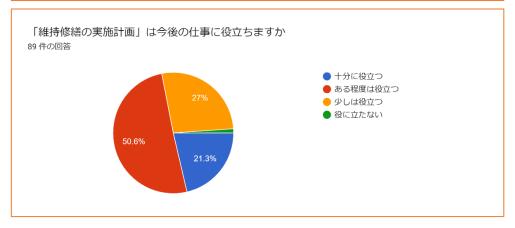






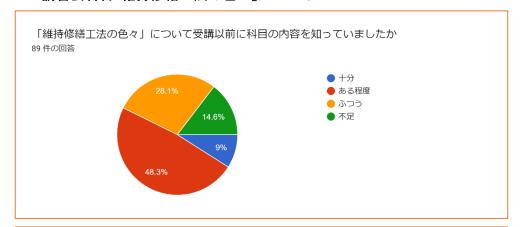


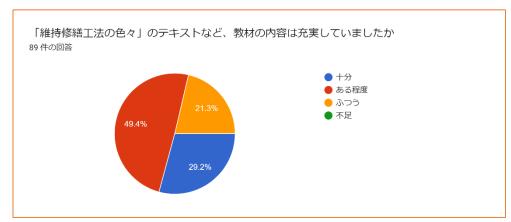


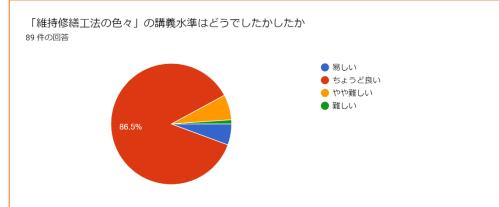


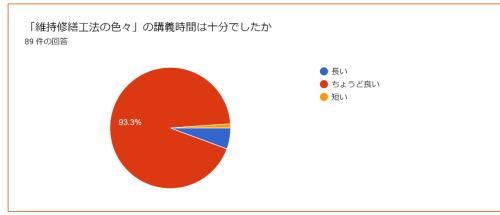
- **13**. 講習会科目「維持修繕の実施計画」の意見・感想・要望・質問があれば 記入ください
- 断りがありましたが、テキストとスライドでページが一致していなかったので、 追加資料とテキストの対応ページの記載があれば良かった。
- 説明資料と講師の説明があっていなく、またどこの説明をしているかも分かり ずらかったため、理解できなかった。資料や指針を再度読み直す必要がある。
- 実施計画を練ったことがなかったので、とても勉強になった。
- 配布テキストに無い部分があり、分かりずらかったです。
- 配布資料と発表画面の乖離が顕著過ぎる。できるだけ合わせるべきと感じた。
- パワーポイントの資料があったりなかったり、先に飛んで戻ったりと、読みにくかった
- fwd は専門家じゃないと難しい。
- 資料とスライドが違い、説明も短く、わかりにくかった。
- 維持修繕における調査及び設計の流れを学ぶ事ができ勉強になりました。た だ、配布資料と説明画面が違っていたため分かり難い部分がありました。
- 路面性状調査の資料不足や、講義内容に沿った資料となっていないため、ページを探すのに戸惑い理解出来ない所があった。
- 舗装設計の内容について、参考になった。講習会で学習した計算式は、業務に生かしたいと思います。
- 新技術を知りたい
- 説明された内容の資料を頂きたい。
- 目視により舗装の損傷レベルを 3 段階に診断する際、調査員のごとのばらつきをなくす手法は何かありますか。また、診断にAIの活用を検討されてますか。

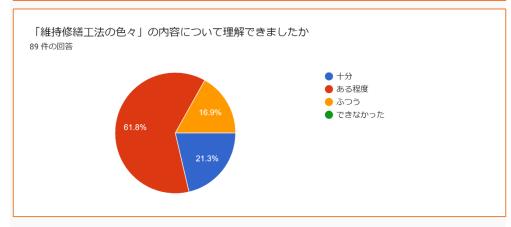
### 12. 講習会科目「維持修繕工法の色々」について

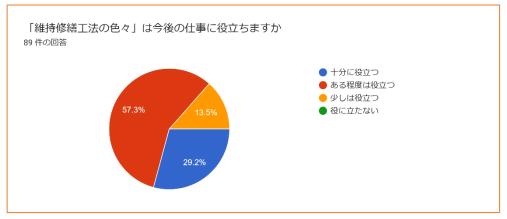








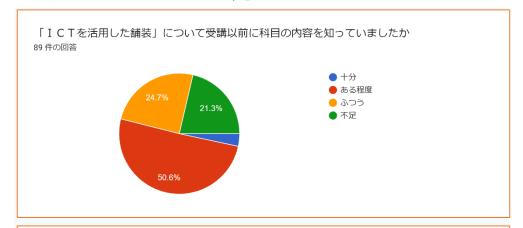


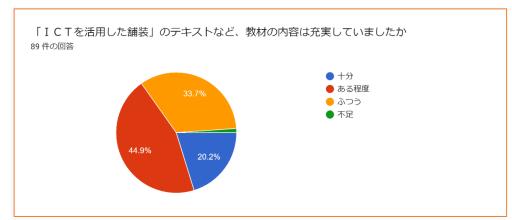


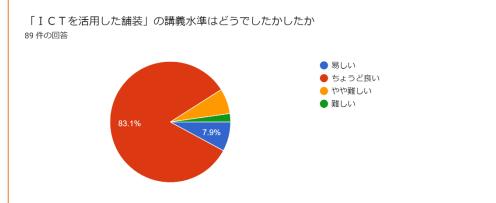
講習会科目「維持修繕工法の色々」の意見・感想・要望・質問があれば 記入してください。

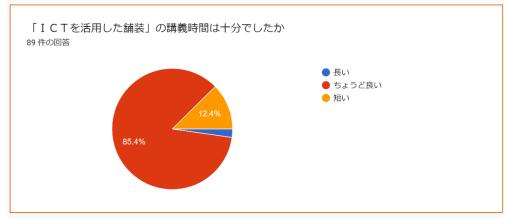
- 他の講義で水が悪さをして舗装が破損するという話がありましたが、保水性舗装ではそのようなデメリットは無いのでしょうか?
- 分かりやすく、各修繕工法を説明されており、知っていた工法もあったが、知らない工法もあったため、細かな説明がありよかった。
- 2 層同時施行のアスファルトフィニッシャーがあることを知らなかったので、勉強になった。きちんと原因を見極めて修繕方法を選ぶために、原因分析がしっかり行えるようにしたい。
- 今回の講習内容の中で最も分かりやすい説明であった。
- 分かりやすく参考になった
- たまに施工していただく路上路盤再生工や良く施工してもらう切削オーバーレイエが出たので良くわかりました。
- 舗装の維持修繕の工法の概要や留意点を学ぶ事ができ勉強になりました。資料も見やすくてよかったです。
- 維持・修繕工法の説明や資料の内容が分かりやすく良く理解出来た。
- 舗装工事の工法について、写真を交えた説明でとても分かりやすく聞きやす かった。
- 新技術を知りたい

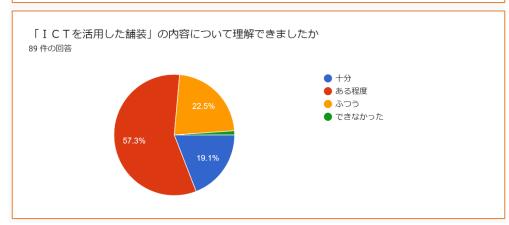
### 13. 講習会科目「ICT を活用した舗装」について

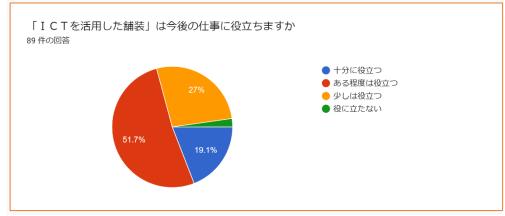












講習会科目「ICT を活用した舗装」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください

- 土工で GNSS を使用して施工を行うと、施工精度にある程度の誤差が生じる との認識がありましたが、高精度 GNSS 方式により、高い精度で施工ができ ることには驚きました。
- 動画での説明、また実際の体験談も交えての説明で非常に分かりやすい説明だった。メリット、デメリットの説明もあり、よかった。
- 3D-MC 活用効果で、グレーダ以外が日施工量の向上に期待がてきないという課題にびっくりした。ICT=生産性の向上(施行量アップ)でないのならば、ICT 舗装が中小企業にまで広がるのが難しいのではないかと思った。
- ICT に取り組め取り組めは言われるけど、具体に環境も設備も伴っていない。
- 施工を行う者には非常に便利だが、技術者は慣れれば良いかも知れないが、 準備などが大変だと思う。費用もかかる。
- 舗装における ICT 活用について学べて勉強になりました。
- ICT 施工の特徴や効果が表により記載されており分かりやすかった。
- 動画のところが、もう少し近くで撮影してもらうと、分かりやすいと思いました。
- 詳しく知りたい

## 第16回「舗装の維持修繕と新しい取り組み」質問票

項目	「舗装構造と破損形態」		
講師	大林道路(株) 稲葉 行則 氏		
	質問者	受講番号14	
	質問	舗装、路盤、路床、その他(盛土など)どこの変状が多いのでしょうか?	
1)	回答	早期劣化の再発が懸念される箇所は詳細調査を実施することで路床、路盤の変状、(健全性)が損なわれていることが特定される事例が多くなりました。 これまで、舗装表面のひび割れ、わだち掘れによる損傷から路面性状の改善を目的とした切削オーバーレイによる補修(現状の舗装機能を維持するための行為)が主流でした。 長年、修繕されていない路盤以下の層に損傷に起因した不具合が発生するリスクが高まっていることが予想されます。 コア抜きやFWD調査、開削調査など詳細調査を行い、損傷している深さ(層)を特定しライフサイクルコストを考慮した修繕(舗装を新設時まで回復させる行為)が必要であると思われます。	

	項目	「維持修繕工法の色々」			
	講師	前田道路(株) 福満 雅之 氏			
		質問者	受講番号29		
		質問	他の講義で水が悪さをして舗装が破損するという話がありましたが、保水性舗装ではそのようなデメリットは無いのでしょうか?		
	2	回答	水が舗装構造に悪影響を与える状況として以下のような状況が一例として挙げられます。 ・表層と基層の間への水の染み込み、滞水⇒層間はく離、ブリスタリング、交通によるアスファルト混合物被膜のはく離の促進⇒表層、基層の破損 へと進行します。 保水性舗装の場合はどうかというと、保水グラウトが水を吸収するため、一時的には基層上面まで水分が滞留しますが、舗装温度が水の蒸発で低下する際に、保水グラウトが乾燥していくため、水に起因する破損の影響はとても小さいものと考えられます。 まとめますと、水の滞留が表基層および路盤に与える悪影響は大きいため、水が舗装体内に浸入しないよう、破損を早めに維持修繕することが重要という事になります。		







